環境コストマネジメント

ムラタでは、過去から、環境保全・公害防止、省エネルギー、地下浸透防止などの予算枠を設定、管理しており、また現在進めている土壌・地下水汚染浄化対応も将来発生費用総額を引当計上するなど、環境関連コストのマネジメントを実行してきました。

環境コストマネジメント制度の導入

2001年5月に改訂したムラタ環境憲章において、従来の環境コストマネジメントをさらに発展・進化させ、投入されるコストとその効果を目的別に把握し、その情報を有効利用することによって、効率的な環境経営を実現することを目指しています。

ムラタでは環境コストマネジメント制度（下図参照）を導入し、環境省ガイドラインに沿った環境保全分類や、環境マネジメントシステムの環境保全活動ごとにコスト及び効果を把握し、これを計画の進捗確認やその是正、もしくはマネジメントレビューに利用します。環境マネジメントシステムと連動させることにより、効率的な施策・業務の水平展開や、効率性を考慮した環境目的・目標の作成・見直しなどに活用します。

コスト・効果の集計に当たっては、集計作業に関わる事務の省力化、集計の信頼性確保、集計元データの確実な保管等の必要性から、社内経理システムのデータを利用した集計システムを開発・導入します。

2003年9月までにコスト及び効果を集計できる体制を整え、10月から国内事業所・子会社にて運用を開始する計画です。

環境保全投資の状況

環境保全投資額は、下表のとおりとなっています。

環境保全投資の状況　（単位：百万円）

投資目的分類	1998～2001年度の実績累計		2002年度の実績	
	単体	連結	単体	連結
公害防止	69	484	19	69
地球環境保全	590	670	33	76
資源循環	451	786	6	6
地下浸透防止※	225	552	675	720
その他	19	93	0	65
計	1,355	2,586	732	936

※関連13ページ

とくに土壌・地下水の浄化費用については企業会計として、汚染浄化対策完了までのすべての費用を試算し、負債として引当計上しています。

土壌・地下水の浄化費用　（単位：百万円）

2002年度までの実績累計		2003年度以降の見込み※	
単体	連結	単体	連結
774	6,409	874	4,899

※ 汚染浄化対策完了までのすべての費用を試算し、負債として引当計上しています。

関連27ページ

環境コストマネジメント制度の概要

